

下の文章を読んでください。

「うらしまたろう」

むかしむかし、あるむらに、こころのやさしい
うらしまたろうという、わかものがいました。

うらしまさんが、うみべをとおりかかると、こどもたちが
おおきなかめを、つかえまていました。

そばによってみてみると、こどもたちが
みんなでかめをいじめています。

「おやおや、かわいそうに。にがしておやりよ」

「いやだよ。おらたちが、やっとつかえまたんだもの。
どうしようと、おらたちのかってだろ」

みると、かめはなみだを、はらはらとこしぼながら、
うらしまさんをみつめています。

うらしまさんは、おかねをとりだすと、
こどもたちにさしだしていいました。

「それでは、このおかねをあげるから、
おじさんにかめをうっておくれ」

「うん、それならいいよ」

こうしてうらしまさんは、こどもたちから、かめをうけとると、
「だいじょうぶかい？ もう、つかまるんじゃないよ」
と、かめをそっと、うみのなかへにがしてやりました。



おかしな言葉がありませんでしたか？
正しく書き替えてください。

この問題は朝田隆著『効く！「脳トレ」ブック』（三笠書房刊）から抜粋して出題しています。
※個人でお楽しみいただく範囲でプリントアウトが可能です。

©Takashi Asada

本ページの全部または一部を非営利目的かつ個人的な使用の範囲を超えて無断で複製・複写（個人的な使用の範囲を超えた数量の複製・複写を含む）、転載、転用、頒布、改変、加工などすることは、著作権法上の例外を除き、禁止いたします。